



熱海にて（佐伯泰英事務所提供）

# 多忙な一年

今年の正月から刊行が始

まつた旧作『古着屋總兵衛影始末』全十一巻の手直しと書き足しの目次がようやくついた。『月刊佐伯』としての新作発表に手直しと刊行が加わり、新作を書く以上に神経と時間を使う一年になつた。だが、手直しを

いった。『月刊佐伯』とし文庫書下ろしはスピードが要求される。ついでにタフでハードボイルドの主人公公



2011年9月(平成23)

## 第6号

発行  
佐伯泰英事務所  
担当／新潮社  
禁・無断転載

してみると実際に直しどうの多いシリーズで「直し甲斐のある十一巻（矛盾甚だしい表現でなんとも微妙な言い回し。その上手前味噛に自画自賛、相すみません）だった。新潮社では決定版と謳つてくれだが、それだけの時間と労力をかけ、全く違ったシリーズに仕上がつたと思つて

## 佐伯泰英／近刊のお知らせ

12月

14日発売予定

11月

15日発売予定

10月

13日発売予定

12日発売予定

26 密命  
〔祥伝社文庫〕  
『ハルキ文庫』

19 鎌倉河岸捕物控  
〔江戸双紙〕  
『愛憎』  
〔居眠り聲音〕  
『橋の上』  
〔針いつぽん〕  
〔双葉文庫〕  
〔光文社文庫〕

『吉原裏同心』  
〔愛憎〕  
〔居眠り聲音〕  
〔江戸双紙〕  
〔帰着準備号〕  
〔橋の上〕  
〔針いつぽん〕  
〔双葉文庫〕  
〔光文社文庫〕

佐伯泰英事務所の公式ホームページができました。

<http://www.saeki-bunko.jp/>

佐伯泰英 通信

検索

この「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと年七回発行いたします。  
株新潮社、株角川春樹事務所、株双葉社、株光文社、株講談社、株祥伝社、株幻冬舎

## 新旧合体の秘術

〔新潮社 新潮文庫編集部  
『古着屋總兵衛シリーズ』担当〕



大黒屋矢来町支店の小僧、佐吉でございます。

佐伯先生は旧シリーズの最終巻『古着屋總兵衛影始末』第十一巻「帰還」に新たに一章を加筆されました。「第六章 閻禪禱」がそれです。73頁分です。この加筆分と既刊の『新・古着屋總兵衛第一巻「血に非ず」』と本巻を以て、旧シリーズと新シリーズが一体の物語に繋がってしまうという魔法のような術なのでございます。

旧シリーズの仇敵は、柳沢吉保でした。將軍綱吉の寵愛を後ろ盾にやりたい放題の権勢を振るった御仁です。六代目總兵衛勝頼様が懲らしめたものの、吉保は最晩年、恐るべき呪術を鳶沢一族に仕掛けたのです。長きにわたってその闇禪禱は人知れず鳶沢村と大黒屋に厄災をなすのでございます。

七、八、九代目の總兵衛様たちが気づかなかつたその闇禪禱を我らが十代目イケメン總兵衛勝臣様は、今坂一族の卜師を使って見事に看破します。そして闇禪禱の源となる影四神を……ああ、言いたい、言いたいけど言っちゃいけない、番頭さんに叱られる。ともかく、読んでください。できれば、旧シリーズの十一巻『帰還』から是非。

古着屋總兵衛影始末  
〔決定版〕全11巻完結 ①～⑪

新・古着屋總兵衛  
〔新シリーズ〕始動! ①②

新潮文庫

敢えて商品と自らの小説を呼んでいるのもそんな理由からだ。それに対してなんの不満もないが、かように手直しの機会を得てみるとやはり時間をかけた小説は嘘をつかないと反省した。ともあれ旧作が長く読み継がれるための新作『新・古着屋總兵衛』専念体制が出来上がつた。九月に第二巻の『百年の呪い』が刊行されて、第三巻から本式に『新・古着屋總兵衛』の開幕だ。なんだ、一、二巻は始まりではないのかと読者諸

編集者の野村某氏によれば、何年後かにリニア新幹線が主人公の座光寺領山吹がつた。夏を乗り切つたあたりで江戸から長崎、京、ついには上海、香港と座光寺藤之助の活躍の地が野放図に広がつた。

〔佐伯通信〕第7号は、11月15日発売予定の『鎌倉河岸捕物控』(19)『針いつぽん』(八)〔ハルキ文庫〕に入ります。

陣屋近くを通るらしい。野村はそうなれば本も売れるはずと皮算用したついでに、座光寺領山吹弁当の企画をどこかの駅弁屋に売り込むつもりでいる。売れるかね、本と弁当。

十日ほど休暇を取ろうと思う。フランスを訪ねてただぼおっとしてこようこ考えている。